

平成4年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成4年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤
委託試験成績検討会は、平成5年2月4日(木)、
たちばな会館(静岡市)において、試験担当者
および関係者多数参集のもとに開催され、除草
剤9剤66点、生育調節剤8剤80点について、試
験成績の報告と活発な質疑応答ならびに慎重な

審議が行われた。

また、普及適用性試験の除草剤5剤70カ所、
生育調節剤2剤8カ所についても各担当県から
報告された。

委託試験成績の判定結果は、次表の通りであ
る。

平成4年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分およ び含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新の 継続	試験担当場 所名 ()=中間ま たは実施中 (敬)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. HOK-916 粒剤	ジクロベニール ……………4 ブタミホス…3	カンキ ツ	適用性 継 続	三重紀南、 大阪農技、 広島柑橘②、 高知果試、 福岡園研、 熊本果研、 宮崎総農試 ②、 (7) <3年度> 宮崎総農試。 (1)	〔一年生雑草全般および 多年生広葉雑草〕 ①早春、雑草発生前土 壌処理、②秋期、中耕 または除草後土壌処理 ; 600, 900, 1, 200g. 対: カソロン粒剤6.7 1, 000g.	実 ・ 継	実)〔一年生雑草および 多年生広葉雑草〕 ・春期、雑草発生前。 ・750~1, 200g/a。 ・土壌処理。 継)・処理時期について。 ・多年生広葉雑草に対 する効果の確認。
(北興化学工業)			薬 害 継 続	広島柑橘、 宮崎総農試。 (2) <3年度> 広島柑橘。 (1)	〔薬害試験〕 ①土壌処理: 1, 000, 5, 000g, ②茎葉処理: 1, 000g。 (前年度処理樹を希望、 詳細一任)		

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 規 の 継 続	試験担当場所名 ()=中間または実施中(敬)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
2. Mon-6069 水溶剤 〔日本モンサント〕	グリホサートアンモニウム塩 … 600 g/kg	カンキツ	適用性 新 規	静岡柑試， 大阪農技， 広島常緑， 徳島果試， 福岡園研。 (5)	〔一年生雑草およびチガヤ，ヨモギ，ギンギン，タンポポなど〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm程度)；15, 30 g<2.5, 10 l>；茎葉処理。 対：ラウンドアップ液剤 50ml<10 l>。	実・継	実)〔雑草全般(スギナを除く)〕 ・春～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・30 g/a<2.5 (専用ノズル使用)，10 l/a>。 ・茎葉処理。 継)・低薬量の効果確認。
3. MR-29 水溶剤 〔日本モンサント・日産化学工業〕	グリホサートナトリウム塩 … 180 g/kg MCPナトリウム塩 … 120 g/kg	カンキツ	適用性 新 規	静岡柑試〔夏期〕，愛知蒲郡，和歌山暖地，愛媛岩城，長崎果試，熊本天草。 (6)	〔一年生雑草およびチガヤ，ヨモギ，ギンギン，タンポポ，スギナなど〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm程度)；40, 50, 60 g<10 l>；茎葉処理。 対：ラウンドアップ液剤 25ml<2.5 l>。	実・継	実)〔雑草全般〕 ・春期～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・50～60 g/a<10 l/a>。 ・茎葉処理。 継)・効果，薬害の確認。
4. MW-851 液剤 (ハービー)	ピアラホス…18	常緑果樹	作用性 新 規	果樹試口之津。 (1)	〔マルバツユクサ〕 一任。	—	
〔ハービー研究会：明治製菓〕		ビワ	適用性 新 規	果樹試興津，千葉暖地，滋賀園芸，兵庫淡路，香川府中，高知果試，長崎果試，鹿児島果試。 (8)	〔雑草全般〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)；50, 75, 100ml<10～15 l>；茎葉処理。 対：プリグロックスL液剤 80ml<10～15 l>。	実	実)〔雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・一年生雑草対象：50～75ml/a，多年生雑草対象：75～100ml/a<10～15l/a>。 ・茎葉処理。
5. MW-DC 水和剤 (サポート)	ピアラホス…12 DCMU…18	カンキツ	作用性 新 規	果樹試興津。 (1)	〔雑草全般〕 一任。 (散布水量，薬量)	実	実)〔雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・一年生雑草対象：50～75g/a，多年生雑草対象：75～100g/a，<10～30 l/a>。 ・茎葉処理。
つづく			適用性 継 続	A：愛知蒲郡，愛媛岩城，宮崎総農試。	〔雑草全般〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)		

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 続 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中(数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
5. MW-DC 水和剤 (つづき) 〔サポート普及 会：明治製菓〕				B：静岡柑 試，(山口 萩)，熊本 果研。 (6)	； A：散布水量 100 g <15, 30 l>， B：薬 量 50, 100 g <30 l>； 茎葉処理。 対：ハービエース水溶 剤 75 g <10 l>。		
6. SC-224 液剤 (タッチダウン) 〔タッチダウン 協議会：アイ ・シー・アイ ・ジャパン〕	グリホサートト リメシウム塩 ……………38	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川根府 川，香川府 中，福岡園 研，佐賀果 試，長崎果 試，鹿児島 果試。 (6)	〔雑草全般〕 (散布水量) 春期および夏期，雑草 生育期(草丈30cm以下) ； 20, 40, 60 ml <2.5 l>， 40 ml <5 l>； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50 ml <2.5 l>。	実・継	実)〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春～夏期，雑草生育 期(草丈30cm以下)。 ・20～60 ml/a <2.5 ～5 (専用ノズル使 用)，10 l/a>。(但 し，20 ml/a は一年 生雑草主体の場合)。 ・茎葉処理。 継)・5 l 散布の効果確認。
7. SUM-302 顆粒水和剤 〔日本モンサン ト・住友化学 工業〕	グリホサートア ンモニウム塩 ……………30 Flumiclorac -pentyl ……2	カンキ ツ	適用性 新 規	静岡柑試， 和歌山果園 試，愛媛果 試，熊本天 草，鹿児島 果試。 (5)	〔一年生雑草およびチガ ヤ，ヨモギ，ギシギシ， タンポポなど〕 春期および夏期，雑草 生育期(草丈30cm以下) ； 40, 50, 60 g <10 l> ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50 ml <10 l>。	継	・効果，薬害について。 ・成分未公開。
			薬 害 新 規	静岡柑試， 愛媛果試。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期または夏期；40, 60 g <10 l>；茎葉処 理，②春期または夏期 ； 120, 300 g <10 l>； 土壌処理。		
8. SL-160 水和剤 (シバゲン) つづく	フラザスフロ ン……………10	カンキ ツ	作用性 継 続	果樹試興津， 果樹試口之 津。 (2)	〔連年施用〕(2年目) 春期；20 g <10 l>； 茎葉処理；展着剤加用。	継	・効果，薬害の確認。 ・効果の進展と抑草期間 について。
			適用性 継 続	静岡柑試， 奈良農試， 広島柑橘， 愛媛果試， 佐賀果試，	〔雑草全般〕 ①春期(3月下旬～4 月)，②早春期(1～ 2月)草丈20cm以下； 5, 7.5, 10 g <10～15		

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
8. SL-160 水和剤 (つづき) [石原産業]				大分津久見. (6)	l>; 茎葉処理; 展着 剤加用. 対: パスタ液剤 50ml <10l>.		
9. ULV-03 液剤 [日本モンサント]	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………6	カンキ ツ	適用性 継 続	静岡柑試*, 広島常緑*, 香川府中*, 佐賀果試, 大分柑試*. (*; 大規模試験を含む)	[一年生雑草およびチガ ヤ, ヨモギ, ギシギシ, タンポポなど] 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 300, 400, 500ml; 原液散布; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml<2.5l>. 大規模試験; 一任.	実・継	実) [雑草全般(スギナ を除く)] ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・400~500ml/a<原 液散布: 専用散布器 使用>. ・茎葉処理. 継)・低薬量の効果確認.

B. 生育調節剤

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中(数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容	
1. BA 液剤 (ビーエー) 〔クミアイ化学工業〕	6-(N-ベンジル)-アミノプリン……………3	ウンシュウミカン (ハウス)	作用性 継 続	<3年度> 愛知蒲郡. (1)	〔着花, 開花促進〕 (栽培管理による影響) 別途協議.	実・継	実) (前年どおり) 〔ウンシュウミカン(早期加温ハウス栽培): 増花効果, 開花斉一化〕 ・加温直後. ・400～100倍(75～300mm). ・樹上全面散布. 注)・花芽が形成されている木について使用. ・樹勢の極めて良い木や弱い木は避ける. 継)・低濃度について. ・加温の温度との関係について. ・連年処理の影響について.	
			作用性 新 規	愛媛大学. (1)	〔着果促進〕 一任.			
			適用性 継 続	<3年度> 長崎果試, 宮崎総農試, 鹿児島大隅. (3)	〔着花, 開花促進〕 (早期加温ハウス栽培の加温直後); 400, 300倍; 全面散布.			
2. 改良C-MH 液剤 (エルノー) つづく	マレイン酸ヒドラジドコリン ……………39	ウンシュウミカン (ハウス)	適用性 継 続	<3年度> (和歌山果園試), 徳島果試, 佐賀果試, 長崎果試. (4)	〔秋梢伸長抑制〕 (翌春の調査)	8月中～9月上旬1回散布(その後の梢発生の激しい地域では更に	実・継	実) (前年どおり) 〔ウンシュウミカン: 夏秋梢伸長抑制〕 ・夏～秋, 新梢萌芽期. ・(露地) 夏期, 200倍2回散

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中(徴)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
2. 改良C-MH 液剤 (つづき)			適用性 継 続	(徳島果試), 佐賀果試, 長崎果試. (3)	[夏秋梢伸 長抑制] (夏枝結 果母枝型)	1回散布する); 67, 80, 100 ml (300, 250, 200 倍) <20 l>; 立木全面散布(試験区 が取れない 場合は, 80 ml 区をは ぶく); 翌 春も調査を 行う.	布. 秋期, 200~100 倍 1回散布. ・(ハウス) 300~200 倍 1~2 回散布. ・立木全面散布. 注)・発芽がみられない 木には散布をさけ る. 継) (ハウス) ・翌年への影響について.
3. GR-58 乳剤 (マデック)	MCPB.....20	清 見	作用性 新 規	<3年度> 果樹試興津. (1)	[収穫前落果防止] ①11月下旬1回, ②12月下旬1回, ③11 月下旬+12月下旬の2 回; 3,000 倍; 立木全 面散布.	継	・効果の確認と年次変動 について.
			適用性 新 規	<3年度> 山口大島, 愛媛南予, 佐賀果試, 大分津久見. (4)			
			適用性 継 続	(山口大島), (愛媛南予), (佐賀果試), (大分津久 見). (4)			
		ネーブル	適用性 新 規	(和歌山果 園試), (広 島柑橘), (愛媛果試), (熊本果研). (4)	[越冬果実の落果防止] 11月中旬+12月中旬の 2回; ①3,000 倍→ 3,000 倍, ②2,000 倍 →2,000 倍; 立木全面 散布.	—	
つづく		はっさく	適用性 新 規	(和歌山果 園試), (広 島柑橘), (愛媛岩城), (徳島県北). (4)	[越冬果実の落果防止] 11月中旬+翌年1月下 旬の2回; ①3,000 倍 →3,000 倍, ②2,000 倍→2,000 倍; 立木全 面散布.	—	

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 規 の 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中 (数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
3. GR-58 乳剤 (つづき)		河内晩柑	作用性 新 規	(果樹試口之津). (1)	〔越冬果実の落果防止〕 詳細は一任. 11/下+12/下+翌1/下+2/下(毎月散布); 3,000, 2,000倍; 立木全面散布.	—	
〔アグロカネショウ〕		河内晩柑, ブンタン	適用性 新 規	河内晩柑; (熊本果研). ブンタン(オオタチバナ); (鹿児島果試). (2)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬+翌年1月下旬の2回; ①3,000倍→3,000倍, ②2,000倍→2,000倍; 立木全面散布.		
4. J-455 乳剤 (フィガロン)	エチクロゼート ……………20	ウンシュウミカン (露地)	作用性 継 続	果樹試興津, 果樹試口之津. (2)	〔エスレルとの混用による摘果〕 (群状結実用部分全摘果) 別途協議. 前年と同一樹を使用.	実・継	実) 〔ウンシュウミカン: 全摘果〕 ・生理落果最盛期(満開10~20日後). ・1,000倍<葉先からしたたり落ちる程度>. ・エスレル8,000~2,000倍を加用. ・摘果したい部分に散布. 〔ウンシュウミカン: 群状結実用部分全摘果〕 ・満開後15~20日後. ・1,000倍<葉先からしたたり落ちる程度>. ・エスレル2,000倍加用. ・群状結実用に部分全摘果したいところに散布(専用ノズル使用). 継)・群状結実用部分全摘果の翌年への影響, 着花について.
〔日産化学工業〕			適用性 継 続	神奈川県府川, 静岡柑試, 和歌山果園試, 広島常緑, 山口大島, 香川府中, 愛媛果試, 佐賀果試, 熊本果研. (9) 自主; 山口大島. <3年度> 静岡柑試. (1)	〔エスレルとの混用による摘果〕 (群状結実用部分全摘果) 満果後15~20日目; フィガロン1,000倍+エスレル2,000倍; 詳細は, 別途協議.		
5. PP-333 フロアブル剤 (バウンティ)	バクロブトラゾール……………21.5	ウンシュウミカン (露地)	作用性 継 続	(果樹試興津), 果樹試口之津. (2) <3年度> 果樹試興津. (1)	〔新梢伸長抑制〕 (連年施用) 新梢発芽直前~5mm以下; 500, 250倍; 立木全面散布.	実・継	実) 〔ウンシュウミカン(露地): 新梢伸長抑制〕 ・新梢発芽直前~5mm以下. ・500~250倍1回散布. ・立木全面散布.
つづく							

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 続 の 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
5. PP-333 フロアブル剤 (つづき)			適用性 継 続	宮崎亜熱帯. (1)	[新梢伸長抑制] (連年施用) 新梢発芽直前~5mm以下; 500~250倍; 立木全面散布.		継) (ハウス) ・加温後の着花, 新梢に対する影響について. ・果実品質について.
		ウンシ ユミ カン (ハウス)	適用性 継 続	<3年度> 静岡柑試, 愛知蒲郡, 和歌山果園試, 愛媛果試, 長崎果試, 熊本果研, 大分柑試. (7)	[夏秋梢伸長抑制] (翌春の調査) 夏秋梢発芽直前~5mm以下; 500, 250倍; 立木全面散布.		
			適用性 継 続	静岡柑試, (愛知蒲郡), 和歌山果園試, (愛媛果試), 佐賀果試, 長崎果試. (6)	[夏枝新梢伸長抑制] 新梢発芽直前~5mm以下 (収穫後処理); 500~250倍; 立木全面散布; 翌春も調査を行う.		
6. RIC-1 液剤	海藻ホジネート	ウンシ ユミ カン (露地)	作用性 継 続	果樹試安芸津, 愛媛大学. (2)	[品質向上] 3~4月に土壌処理, 5月以降1カ月毎立木全面散布; ①土→5,000倍3回, ②土→3,000倍3回, ③土→5,000倍2回→5,000+PK→PK2回, ④土→3,000倍2回→3,000+PK→PK2回. 土壌処理: 100mlを降雨前500~200倍, 乾燥時3,000~2,000倍. PK: 2,000倍.	継	・効果の確認.
		ウンシ ユミ カン (露地およびボックス)	適用性 継 続	露地; 鹿児島大学[作用性], 神奈川根府川, 静岡柑試,	[品質向上] 3~4月に土壌処理, 5月以降1カ月毎立木全面散布; ①土→5,000倍3回, ②土→3,000倍3回.		

つづく

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 続 の 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中 (敬)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
6. RIC-1 液剤 (つづき)				三重紀南, 和歌山果 園試, 愛 媛果試, 福岡園研, 佐賀果試, 長崎果試, 熊本果研, 大分柑試, 鹿児島果 試. (12 ボックス; 神奈川根 府川, 静 岡柑試. (2)	土壌処理: 100ml を 降雨前 500 ~ 200 倍, 乾燥時 3,000 ~ 2,000 倍, ボックス 1ml/1 株を 1,000 ~ 500 倍.		
		ウンシ ュウミ カン (ハウ ス)	適用性 継 続	(愛知蒲郡), (三重紀南), (愛媛南予), (佐賀果試), (長崎果試). (5)	〔品質向上, 樹勢回復〕 10~11月に土壌処理, 1月以降1カ月毎立木 全面処理; ①土→ 5,000 倍 3 回, ②土→ 3,000 倍 3 回. 土壌処理: 100ml を 降雨前 500 ~ 200 倍, 乾燥時 3,000 ~ 2,000 倍.		
		イヨカ ン	適用性 新 規	愛媛岩城. (1)	〔品質向上〕 一任.	—	
7. S-327D 乳剤	ウニコナゾール P……………5	カンキ ツ	作用性 継 続	<3年度> 鹿児島大学, 静岡柑試. (2)	〔新梢伸長抑制, 花芽分 化促進等〕 (変動要因)(翌春の 調査) 一任.	—	
		ウンシ ュウミ カン	適用性 継 続	<3年度> 広島常緑, 福岡園研, 熊本果研. (3)	〔秋冬期処理による翌春 の着花量増〕 (翌春の調査) 1月下旬; 200, 100 倍; 立木全面散布.	継	・効果の安定性と年次変 動について.
		ウンシ ュウミ カン (ハウ ス)	適用性 継 続	<3年度> 愛媛南予. (1)	〔夏秋梢の伸長抑制〕 (翌春の調査) 9月上旬(収穫後)発 芽前1~2回; 400, 200 倍; 立木全面散布.	実・継	実)〔ウンシユウミカン (露地): 新梢伸長抑制) ・新梢発芽直前~5mm 以下. ・200 倍, 1~2 回. ・立木全面散布.

つづく

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の種類 新 継 の 別	試験担当場所名 ()=中間または実施中 (数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
7. S-327D 乳剤 (つづき)		ウンシ ユウミ カン	適用性 継 続	<3年度> 神奈川根府 川, 三重紀 南, 愛媛果 試. (3)	〔新梢伸長抑制〕 (連年施用) (翌春の調査) 春期および秋冬期(2 回); 50倍; 立木全面 散布.		継)・翌年への影響につい て.
		ウンシ ユウミ カン (露地ま たはハ ウス)	作用性 継 続	露地; 果樹 試口之津, (静岡柑 試). ハウス; 愛 媛大学, 鹿児島大 学. (4)	〔新梢伸長抑制〕 処理時期・回数は, 別 途協議; 400, 200, 100倍; 立木全面散布 ; 翌春も調査を行う.		
		ウンシ ユウミ カン (ハウ ス)	適用性 継 続	愛媛南予, 長崎果試, 鹿児島果試. (3)	〔秋枝伸長抑制〕 秋枝発芽直前~5mm以 内; 400~200倍, 1 ~2回; 立木全面散布 ; 翌春も調査を行う.		
〔住友化学工業〕							
8. KUH-833 F® フロアブル剤	プロヘキサジ オンCa…………25	カンキ ツ	作用性 継 続	<3年度> 果樹試興津, 果樹試安芸 津, 愛媛大 学. (3)	〔新梢伸長抑制〕 (樹種別時期, 濃度) (翌春の調査); 一任.	実・継	実) (前年どおり) 〔ウンシユウミカン: 新梢伸長抑制〕 ・春枝発生期または夏 秋梢伸長開始期. ・500~125倍 ・立木全面散布. 継)・果実品質への影響に ついて.
		ウンシ ユウミ カン	適用性 継 続	<3年度> 静岡柑試, 香川府中, 熊本果研, 宮崎総農試. (4)	〔新梢伸長抑制〕 (翌春の調査) 春枝発生前~始期また は夏秋梢伸長開始前~ 始期(1回); 500, 250, 125倍; 全面散 布.		
〔クミアイ化学 工業〕							